

2019年度化学物質環境実態調査結果 地域別データ

調査名: 初期環境調査
 調査媒体: 水質(ng/L)
 地方公共団体: 名古屋市
 調査地点: 堀川港新橋(名古屋市)

調査対象物質	測定値	報告時 検出下限値	検出下限値
[1] アジスロマイシン	100	1.5	1.7
[2-1] メチル=(E)-2-[2-[6-(2-シアノフェノキシ)ピリミジン-4-イルオキシ]フェニル]-3-メトキシアクリラート (別名:(E)-アゾキシストロビン)	※0.63	0.55	1.1
[2-2] メチル=(Z)-2-[2-[6-(2-シアノフェノキシ)ピリミジン-4-イルオキシ]フェニル]-3-メトキシアクリラート (別名:(Z)-アゾキシストロビン)	nd	0.32	0.39
[4] アモキシシリン	1.8	0.013	0.013
[5] シアナミド	910	190	280
[7] 3-[[[(ジメチルアミノ)カルボニル]オキシ]-1-メチルピリジニウム (別名:ピリドスチグミン)	4.3	0.043	0.043
[9] N,N-ジメチルピグアニド塩酸塩 (N,N-ジメチルピグアニドとして) (別名:塩酸メトホルミン (メトホルミンとして))	1300	0.17	0.17
[11] タリウム及びその化合物 (タリウムとして)	8	0.14	0.14
[14] N-ニトロソジエチルアミン	0.19	0.026	0.026
[15] N-ニトロソジメチルアミン	2.8	0.024	0.024
[16] バルプロ酸	15	1.7	3.1
[19] 3-ベンジリデンカンファー	nd	7.4	23
[20] ベンジル-p-ヒドロキシベンゾエート (別名:ベンジルパラベン)	nd	0.29	0.29
[22] レボフロキサシン	220	0.44	0.44

(注1) 「nd」は不検出を意味する。

(注2) ※: 参考値(調査対象物質ごとに統一して設定した「検出下限値」未満ではあるが、各地点ごとの調査精度に依存する「報告時検出下限値」以上として定量的に検出された値であるため、参考として記載した。統計処理には数値としては用いていない。)